

昼の部(12:00~16:30)

12時	落語 交互出演 三遊亭めぐる・三遊亭たん丈 曲芸 ストレート松浦 落語 三遊亭彩六・三遊亭丈二 落語 桃月庵白酒 物まね 江戸家小猫	14時	落語 桂 文楽 奇術 美智・美登 落語 鈴々舎馬風 *お仲間入り*
13時	落語 林家正蔵 落語 柳家真多八 漫才 ホームラン 落語 金原宇三	15時	落語 三遊亭天どん・三遊亭白鳥 漫才 ロケット団 落語 三遊亭歌司 落語 桂 文生
		16時	太神楽 鏡味山三郎社中 主任 三遊亭円丈

第12回寄席研報告

第12回目の寄席研は10月28日(水)恒例の新宿末広亭で10月下席昼の部鑑賞会を開催?しました。

今回の寄席研は、いつも参加して戴いているコアのメンバー6人の方から、他の行事と重なり参加が難しいという事前連絡を受けていたのですが、この会は当日自由参加型なので、敢えて開催を強行しました。残念ながら不安が的中し、なんと荒木さんと私だけの2名の参加という事になってしまいました。

寄席全体では私達と同年配の観客で、開演後すぐに1階席は満員となる盛況でした。

前半のお目当ては早稲田出身で今売り出し中の、桃月庵白酒(はくしゅ)で、演目は老講釈師の「石松三十石船」というものでしたが、時間も少なく、消化不良に終わりました。

もう一人は私と同郷の三遊亭白鳥の創作落語「おバカ看護婦」で、ナンセンスものですがそれなりに楽しめました。

後半は鈴々舎馬風・三遊亭歌司・桂文生と超ベテランの登場でしたが、いずれも志ん生・小さん・三平等の楽屋囃や小囃で本題に入らずに終わってしまいました。

その中で面白かった小囃を二つ紹介します。

- 1・九州のゴルフ場での話。キャディが「何しちよつと」を連発するので何を怒っているのか確認すると「ナイスショット」と褒めていたのだった。
- 2・農家の前で獲れたての芋を眺めていると、家人がしきりに「what time is it now」と言う。何度も時計を見せるが母が明かない、よくよく聞いてみると「掘った芋をいじるな」だった。

昼の部主任は三遊亭円丈(白鳥の師匠)で、創作落語では最右翼の噺家ですが、今日の噺は洋の東西の昔話と童話をミキシングしたものでした。

シンデレラ・赤頭巾・三匹の子豚から最後は桃太郎まで、彼独特の支離滅裂な世界ですが、寄席は爆笑の連続でした。



終演後2人でいつも通りの打ち上げ会を行い、早々に解散しました。



次回は来年1月か2月を予定しております。ぜひご参加ください。

(文: 伊藤 写真: 荒木)